

井上頼国 （幼少） 國學者、文學博士。天保十年二月十八日江戸生れ、

大正二年七月四日歿（八三—九二）。幼名次郎、通稱大學、肥後、鐵

道。號一賀、伯隨、厚載、神習舎。平田鏡胤、次で權田直助の學ぶ。

明治二年大學中助教、宮内省御用掛、國學院講師、聖教員院教授等を歴

任。また私塾神習舎の教へ、十五年皇典講究所創設の關與。口井上頼

國翁小傳（大正十年八月十日田邊勝編刊）、田邊勝編 神習舎

玉簾自録（大正十五年一月二十一日朝賀喜一刊）がある。

編著書、權田直助著 （増補） 國文句讀法（逸見伸二郎共増補訂正、明

治二十八年七月二十五日近藤活版所）、（新） 撰東山年表（大槻知電共

撰、明治二十一年二月二十五日（吉川半七） 林平次郎刊）、權田直助著 （谷越金遺

稿）（古傳概略） 魂心氣略（逸見伸二郎共編、明治二十二年七月十日近藤活

版所）、（同） 漢文和讀例（同共校訂、明治二十七年四月二十日近藤

活版所）、（山内成郷編） 權原神宮御祭神記並御由緒記（校訂、明治

二十九年十一月二十日奈良、權原神宮）、（高山昇合） 難訓辭典

編、明治四十年十月二十日啓成社）、（上田萬年共校定） 百事記考（明治四十一年六

月二十八日明治書院）、（木活豊稿） 校定古事記（全二冊、上田萬年共校定）

明治四十四年四月一日皇典講究所、續文社、阪柳原書房）等。